



## 保育士の配置基準を76年ぶりに見直し!

保育士の配置基準は、保育士1人が受け持つ子どもの数のことで、0歳児が一人当たり3人、1～2歳児が6人、3歳児が20人、4～5歳児が30人となっていました。今年度から、保育の質を向上させるためとして、保育士の配置基準を3歳児は15人に1人、4～5歳児は25人に1人に見直しました。(こども家庭庁)

**保育の現場は  
これでも足りない!!**

保育士の配置基準

	見直し前	見直し後
0歳児	3	3
1、2歳児	6	6
3歳児	20 →	<b>15</b>
4、5歳児	30 →	<b>25</b>



課題としては、予算が十分でないことや、保育士不足により保育士をすぐに確保できない問題などがあります。保育士確保が難しいことから、配置基準を満たせない場合にも、「当面の間は従前の基準により運営することも妨げない」との経過措置が設けられています。経過措置は期限未定なので、今後の動向には注意が必要です。



## 自衛隊への個人情報名簿提供について 6月 一般質問

### 個人情報の保護は、人権尊重、国民主権の根幹です!

福岡市は市長の名のもと、自衛隊のリクルートのために18歳と22歳の個人情報名簿(今年度も約3万人分)を、これまで合わせると約15万人分の個人情報を市の方から自衛隊に差し出しています。提供を望まない方の除外申請が可能になりましたが、十分な周知や対象者への心情配慮には至っていません。



議会で何度もこの問題を質していますが、市は依然として「法定受託義務として可能範囲での協力であり、必要な情報提供」であるとして今後も継続するとのこと。提供しない自治体や、反対により撤回した自治体のある中で、市は個人情報の保護の観点を早急に改めるべきと考えます。

個人情報の保護は、人権尊重、国民主権の根幹です。このタガが外れていけば、マイナンバー、運転免許証、健康保険証、年金、預貯金等、すべての個人情報が筒抜けで、紐づけされる一元管理の監視社会となっていくことが予測されています。(デジタル・ファシズム社会)

### 戦後79年、軍縮どころか「軍拡」日本。国の自衛官募集に忖度するな!



市街地越しに見える  
オスプレイの列

また、名簿提供の背景には自衛隊志願者の減少があります。近年の少子化、相次ぐハラスメントや自殺者で、自衛隊組織の問題点も指摘されています。そもそも「自衛官」という職は、国の非常時には「自ら命を賭けて<賭命義務>、相手をせん滅(殺傷)する<武力行使>」特別な任務を有するものであり、一般の就職先とは違うのです。

国の防衛費が年々膨らんでいく中で、自衛官募集は国の重点課題であることは間違いなく、国に忖度する首長の方針で若者の個人情報を提供し続けている福岡市は、本当に若者のことを考えているのでしょうか。

# いのちとくらしを守る!